

教科	科目	単位数	教科書	使用教材	対象
地理歴史	世界史 A	2	『明解 世界史 A』 (帝国書院)	教科書	旧課程

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
前期 中間まで	人類の始まり 東アジアの文明 南アジアの文明 西アジア・北アフリカの文明	・自然環境が文明に与えた影響について理解する。 ・中国文明の特質を学び、日本を含む東アジア世界に与えた影響について理解する。 ・南アジアと西アジアで誕生した諸宗教の特徴を理解する。 ・地中海沿岸各地の自然環境と文明の関連について理解する。 ・今日に残るオリエント文化の影響について理解する。	・理解力 ・思考力 ・資料の活用力 中間考査	18
前期 期末まで	西アジア・北アフリカの文明 ヨーロッパの文明 繁栄するアジア 大航海時代と新たな国家の形成	・イスラーム教の教義や特徴について理解する。 ・イスラーム世界の拡大について理解する。 ・アテネの民主政と、今日の民主政の相違点を理解する。 ・統治体制の変遷に着目しながら、ローマの歴史を理解する。 ・キリスト教会とローマ帝国、フランク王国の関連について理解する。 ・アジアで栄えたオスマン帝国、ムガル帝国、明清帝国について理解する。 ・大航海時代のポルトガル・スペインが世界に与えた影響について理解する。	・理解力 ・思考力 ・資料の活用力 期末考査	18
後期 中間まで	大航海時代と新たな国家の形成 ヨーロッパとアメリカの諸革命 自由主義・ナショナリズムの進展 東アジアの大変動 第一次世界大戦がもたらしたもの	・中央集権化したヨーロッパ諸国で革命が起こってゆく経緯を理解する。 ・フランス革命とナポレオン戦争を通じ、各国に自由主義と国民主義が広まってゆく点を理解する。 ・産業革命の背景と意義について理解する。 ・欧米諸国の中国分割について学び、日本との関わりについても理解する。 ・第一次世界大戦の原因や性格について理解する。	・理解力 ・思考力 ・資料の活用力 中間考査	18
後期 期末まで	民族自決を求めて 経済危機から第二次世界大戦へ 冷戦から地球社会へ	・世界恐慌が生んだ新たな国際対立について理解する。 ・ファシズムの台頭を、大衆社会化現象と関連づけて理解する。 ・第二次世界大戦の性格について理解する。 ・戦後の冷戦構造を、核開発競争と関連付けて理解する。 ・米ソの影響力が低下し、多極化が進んだ経緯について理解する。	・理解力 ・思考力 ・資料の活用力 期末考査	16

教科	科目	単位数	教科書	使用教材	対象
地理歴史	世界史B	4	『世界史B』 (東京書籍)	教科書	旧課程

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
前 期 中 間 ま で	文明以前の人類 オリエント世界の成立 オリエント世界の発展 ギリシア世界 ヘレニズム世界 都市国家から世界帝国へ ローマ帝国の繁栄 古代末期の社会と地中海世界の解体	・気候変動による影響に着目し、人類の進化を理解する。 ・地中海沿岸各地の気候と、文明の関連性について理解する。 ・アテネ民主政が完成に至る経緯と、今日の民主政との違いについて理解する。 ・アレクサンドロス大王の東方遠征により東西世界の融合が進められた点を理解する。 ・ローマの興隆と衰退を、その原因に着目して理解する。 ・初期キリスト教の展開を、ローマ帝国との関連を中心に理解する。	・理解力 ・思考力 ・資料の活用力 中間考査	36
前 期 期 末 ま で	東アジアにめばえた文明 中華帝国の誕生 東方の世界帝国 イスラーム世界の成立 イスラーム世界の発展 イスラーム文明 東ヨーロッパ世界 西ヨーロッパ中世世界の成立	・黄河流域と長江流域の新石器文化、殷周王朝の特色について理解する。 ・諸子百家の代表的思想について理解する。 ・秦漢帝国の中央集権的統治体制について理解する。 ・隋唐帝国の統治体制について学び、日本を含む東アジア世界に与えた影響を理解する。 ・イスラーム教の特質と拡大について理解する。 ・キリスト教の東西分裂について理解する。 ・フランク王国とカトリック教会の接近により、西ヨーロッパ世界が形成されていった点を理解する。	・理解力 ・思考力 ・資料の活用力 期末考査	36
後 期 中 間 ま で	封建社会と都市 カトリック教会と十字軍 中世的世界の動揺 ルネサンス 海洋帝国の出現 大交易時代の世界 主権国家群の形成と宗教改革 オランダの繁栄と英仏の追い上げ 18世紀のヨーロッパと啓蒙専制国家	・封建制度と荘園制度について理解する。 ・西ヨーロッパ世界拡大の動きを、十字軍を通して理解する。 ・ローマ教皇圏の伸長と衰退について理解する。 ・ルネサンスがイタリアで起こった背景について理解する。 ・価格革命や商業革命の影響について理解する。 ・宗教改革の意義と、諸国の宗教戦争について理解する。 ・絶対王政下のヨーロッパ諸国の動きについて理解する。 ・啓蒙専制国家の「上からの近代化」を理解する。	・理解力 ・思考力 ・資料の活用力 中間考査	36
後 期 期 末 ま で	激化する経済覇権競争 工業化と社会問題の発生 合衆国とラテンアメリカ諸国の独立 フランス革命 ナポレオン戦争	・イギリス産業革命の背景について理解する。 ・産業革命後の社会構造の変化について理解する。 ・アメリカ合衆国の独立と領土拡大の動きを理解する。 ・フランス革命の展開を、各階級の動向に着目しながら理解する。 ・フランス革命とナポレオン戦争を通じて、自由主義や国民主義運動が広まった点を理解する。	・理解力 ・思考力 ・資料の活用力 期末考査	32

教科	科目	単位数	教科書	使用教材	対象
地理歴史	日本史 A	2	日本史 A 現代からの歴史 (東京書籍)	教科書	旧課程

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
前期 中間まで	近代の萌芽 開国から幕府の滅亡 明治初期の諸改革と外交	・欧米列強のアジアへの進出を理解する。 ・開国と貿易開始とその影響を理解する。 ・幕末の動乱の経緯について理解する。 ・倒幕運動の展開と新政府の成立について理解する。 ・維新改革の内容とその後の影響を理解する。 ・明治初期の外交の特色と領土画定の経緯を理解する。	・理解力 ・思考力 ・関心、意欲 中間考査	18
前期 期末まで	自由民権運動の展開 立憲体制の成立と条約改正 日清・日露戦争と国際関係 産業革命の進展と資本主義の発展	・自由民権運動の特色と政府の姿勢について理解する。 ・大日本帝国憲法の特色について理解する。 ・条約改正交渉の経過と国際関係について理解する。 ・日清戦争にいたる経緯と結果を理解する。 ・日露戦争について国際的な動向をふまえて理解する。 ・韓国併合の過程を、国際関係を踏まえながら理解する。 ・資本主義の確立と社会運動の発生を理解する。	・理解力 ・思考力 ・関心、意欲 期末考査	18
後期 中間まで	国民生活の変化 第一次世界大戦前後の国内外の動向 政党政治の展開 戦間期の国内外の動向	・この時期の学問・文化の進展について具体的に理解する。 ・第一次世界大戦における日本の動きを理解する。 ・戦後の国際的な協調体制の内容について理解する。 ・護憲運動と政党内閣の成立の経緯を理解する。 ・恐慌が続く中で協調外交が挫折していくことを理解する。 ・世界恐慌によって社会不安が増大したことを理解する。	・理解力 ・思考力 ・関心、意欲 中間考査	18
後期 期末まで	戦間期の国内外の動向 第二次世界大戦前後の国内外の動向	・満州事変と軍部の台頭の経緯について理解する。 ・保護貿易など世界恐慌に対する各国の対策を理解する。 ・二・二六事件とその後の政治的影響について理解する。 ・日中戦争の長期化と国内の戦時体制について理解する。 ・第二次世界大戦に日本が関わっていく経緯を理解する。 ・大戦終結の過程を国内外の情勢を踏まえて理解する。	・理解力 ・思考力 ・関心、意欲 期末考査	16

教科	科目	単位数	教科書	使用教材	対象
地理歴史	日本史B	4	詳説日本史B (山川出版社)	教科書	旧課程

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定時数
前 期 中 間 ま で	旧石器時代 縄文時代 弥生時代 古墳時代 推古朝の政治 律令国家の成立 平城京の時代 平安初期の政治	・自然環境の変化に着目して原始時代を理解する。 ・大陸との関係・中国文献を踏まえ、弥生時代の社会の変化、ヤマト政権の成立を理解する。 ・律令制度の確立過程とその政治体制の特色を理解する。 ・東アジア世界との交流や鎮護国家思想、藤原氏の進出と政界の動揺について理解する。 ・平安京遷都や東北経営の背景や意義について理解する。	・理解力 ・思考力 ・資料の活用 中間考査	36
前 期 期 末 ま で	摂関政治 地方社会の変容 院政と平氏政権 鎌倉幕府の成立 執権政治 幕府の衰退と社会の変容 建武の新政 南北朝の動乱	・北家発展の経緯と摂関政治の仕組みについて理解する。 ・武士団の成長と武士の中央進出の経緯について理解する。 ・荘園公領制成立までの荘園支配の動向について理解する。 ・院政の特色、平氏政権の成立について理解する。 ・鎌倉幕府の支配機構と封建制度について理解する。 ・執権政治の特色及びその変容について理解する。 ・建武の新政の内容と南北朝の動乱の経緯について理解する。	・理解力 ・思考力 ・資料の活用 期末考査	36
後 期 中 間 ま で	室町幕府の成立 勘合貿易 庶民の台頭 戦国時代 織豊政権 幕藩体制の成立 初期外交と鎖国 文治政治 経済の発展	・守護大名と、室町幕府の支配機構を理解する。 ・勘合貿易の推移と経済の発展について理解する。 ・応仁の乱の原因と影響について理解する。 ・代表的な戦国大名が登場する経緯や分国支配を理解する。 ・ヨーロッパ世界との接触の影響を視野に入れて、織豊政権の特色を理解する。 ・幕藩の支配機構、農村支配、経済的基盤、身分制度などの全国支配の仕組み及び鎖国体制を理解する。 ・文治政治の具体的政策と経済発展を理解する。	・理解力 ・思考力 ・資料の活用 中間考査	36
後 期 期 末 ま で	幕政の改革 鎖国の動揺 雄藩の浮上 開国とその影響 幕末の動乱	・享保の改革や田沼政治、寛政の改革の担い手と、具体的な政策を理解する。 ・列強の接近の代表的事例を知り、鎖国体制の動揺を招いたことを理解する。 ・藩政改革の特色を知り、雄藩の台頭について理解する。 ・ペリー来航と、開国が国内の社会・経済に与えた影響を理解する。 ・幕末の動乱の経緯について理解する。	・理解力 ・思考力 ・資料の活用 期末考査	32

教科	科目	単位数	教科書	使用教材	対象
情報	情報の科学	2	新・情報の科学 (日本文教出版)	教科書、プリント等	全学年

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定数
前期 中間まで	序章 情報社会に生きるわたしたち 1. 情報社会と情報の科学 2. 学習に入る前に 1章 コンピュータによる情報の処理と表現 1. コンピュータを情報処理 2. 情報のデジタル化	- 情報社会について考える。 1年間の学習内容を確認する。 - これまでの学習内容を確認する。 - コンピュータの動作のしくみを理解する。 - ソフトウェアの種類や基本的なはたらきを理解する。 - 数値、文字、音、画像をコンピュータがどう表現しているかを理解する。 - デジタルデータの特長を理解する。	ワークシート 演習成果物 定期考査	18
前期 期末まで	2章 ネットワークがつなぐ コミュニケーション 1. メディアとコミュニケーション 2. ネットワークの動作のしくみ 3章 情報システムが支える社会 1. 情報社会と情報システム 2. 安全な情報社会を目指して 3. 情報セキュリティ 4. 情報社会における法律	- メディアの発達とコミュニケーション形態の変遷について理解する。 - オンラインコミュニティの特性について理解する。 - コンピュータネットワークの基本的な構成と動作のしくみを理解する。 - インターネットの基本プロトコルのはたらきを理解する。 - 情報システムの種類や特徴を知り、利用する際の注意点について理解する。 - 情報化が人間に及ぼす影響について理解する。 - よりよい情報社会を構築するためのさまざまな考え方や工夫について理解する。 - 情報セキュリティ技術のしくみを理解する。 - 不正アクセスやサイバー犯罪から身を守ることの重要性を理解し、その方法を習得する。 - 情報社会に関連する法律の目的や内容を理解する。	ワークシート 演習成果物 定期考査	18
後期 中間まで	アカデミックスキルズ 4章 問題の解決と処理手順の自動化 1. 基本的なアルゴリズム とプログラム 2. いろいろなアルゴリズム	- 問題解決とは何か。それを学ぶ意義は何かを理解する。 - 問題解決の基本的な流れを理解する。 - 問題解決の場面で役立つさまざまな手法を習得する。 - 問題解決の場面で情報を活用する方法を理解する。 - 基本的なアルゴリズムを理解する。 - 簡単なプログラムの作成方法を習得する。 - さまざまなアルゴリズムについて考える。 - プログラミングを問題解決に活かす方法を理解する。	ワークシート 演習成果物 定期考査	18
後期 期末まで	5章 モデル化と問題解決 1. モデル化とシミュレーション 2. 情報の蓄積・管理と データベースのしくみ 6章 情報通信ネットワークと問題解決 1. グループで行う問題解決 2. グループによる問題解決型学習実践	- 問題解決の対象をモデル化する方法を理解する。 - モデル化された問題についてシミュレーションを用いて解決する方法を理解する。 - データベースについて基本的な考え方を理解する。 - 簡単なデータベースを作成することに取り組む。 - グループで行う問題解決の留意点を理解する。 - グループで行う問題解決の過程で利用できる情報共有のさまざまな方法を知る。 - グループで課題解決型の学習に取り組む。	ワークシート 演習成果物 定期考査	16